

FUKUOKA JO GAKUIN



SINCE 1885

The 36th

Georg Friedrich Händel

Messiah

福岡女学院メサイア2018

2018.12.22 Sat



福岡女学院創立133周年記念

クリスマスコンサート「第36回 メサイア」

日時 2018年12月22日(土)

開場 / 16:00 開演 / 16:30

会場 アクロス福岡シンフォニーホール
福岡市中央区天神1-1-1

チケット 3,000円【全席自由席】

指揮 / 鈴木 優人

ソリスト / 江田 雅子 [ソプラノ]

八木 寿子 [アルト]

中嶋 克彦 [テノール]

加来 徹 [バリトン]

管弦楽 / 福岡女学院メサイアオーケストラ

コンサート
マスター / 岡本 誠司

プログラム / 「メサイア」より

第1部全曲、第2部、第3部より抜粋

合唱 / 福岡女学院合唱団 西南シャントウール 九大コールアカデミー 他

チケット取扱い チケットぴあ Pコード:125-691 / ローソンチケット Lコード:81465 / アクロス福岡チケットセンター(2階) Tel.092-725-9112 / 福岡女学院

主催 / 学校法人 福岡女学院 お問い合わせ: 学校法人 福岡女学院 総務課 TEL:092-581-1492 E-mail: messiah@fukujo.ac.jp

後援 / 福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団・春日市教育委員会・大野城市教育委員会・朝日新聞社・毎日新聞社・西日本新聞社・読売新聞西部本社



SINCE 1885

福岡女学院創立133周年記念 クリスマスコンサート「第36回 メサイア」

指揮

Conductor

鈴木 優人

1981年オランダ生まれ。東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。

鍵盤奏者(チェンバロ、オルガン、ピアノ)として国内外の公演に多数出演。指揮者としてはこれまでバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)、九州交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団等と共演。音楽監督を務めるアンサンブル・ジェネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開。作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J.S.バッハ BWV 190 喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト『レクイエム』の補筆・校訂が(Schott Music)、高い評価を得ている。NHK-FMの「古楽の楽しみ」にレギュラー出演。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、作曲とその活動に垣根はない。2017年11月には、モンテヴェルディ生誕450周年を記念し、歌劇「ポッペアの戴冠」を国際的で魅力に富む歌手陣で上演。高い芸術性と優れたキャスティングを生かした躍動感を伴った上演はバロック音楽の新機軸として高い評価を得た。2018年2月のBCJ定期演奏会では指揮者として、J.S.バッハ・ヨハネ受難曲に出演。

オフィシャルホームページ <http://suzukimasato.com/>



(c)Marco Borggreve

ソプラノ

Soprano

江田 雅子

福岡市出身。福岡女学院高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学大学院修士課程独唱科を修了。同大学よりアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演する。大学院在学中に藝大メサイア公演のソリストとしてデビュー。明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてドイツに留学、2009年ドイツ国立カールスルーエ音楽大学リト科を修了。2009年三菱地所賞を受賞。2010年東京藝術大学音楽大学大学院博士課程独唱科を修了、博士号を取得する。

声楽を吉田由布子、故 朝倉蒼生、白井光子、寺谷千枝子、クリスティーナ・ヴァルテンベルク、柏木博子の各氏に師事。演奏法をハルトムート・ヘル、コンラート・リヒターの各氏に師事。これまでオペラではパーセル「ダイドとエネアス」、ラヴェル「子供と呪文」、宗教音楽ではバッハ「マタイ受難曲」をはじめとする多数のカンタータ、ヴィヴァルディ、テレマンのカンタータ、ヘンデル「メサイア」、「グロリア」、モーツァルト「レクイエム」、「ミサ曲」、ベートーヴェン「第九」等のソリストとして出演している。またドイツ・ベルリン在ドイツ日本大使館における天皇誕生日式典にて日独両国歌を独唱する。ベルリン在住。



(c)Marco Borggreve

アルト

Alto

八木 寿子

福岡県出身。福岡教育大学卒業、京都市立芸術大学大学院修士課程を首席にて修了。これまで「ディドとエネアス」、「フィガロの結婚」、「魔笛」、「アイダ」、「カルメン」、「蝶々夫人」、「ヘンゼルとグレーテル」などのオペラに、また宗教曲などでは、ヘンデル「メサイア」、ヨーゼフ・ハイドゥン「ミサ」、ミハエル・ハイドゥン「レクイエム」、モーツァルト「レクイエム」、「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、マーラー「交響曲第2番「復活」、同じく「交響曲第3番」、など多くの作品でソリストをつとめる。第25回飯塚新人音楽コンクール第2位。第17回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位、第16回ABC新人コンサートに出演。第14回日本モーツァルト音楽コンクール奨励賞。第9回東京音楽コンクール第1位。第81回日本音楽コンクール入選。

現在、神戸市混声合唱団団員、京都女子大学非常勤講師。



テノール

Tenor

中嶋 克彦

長崎県大村市出身。福岡教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程修了。同大学院博士課程修了、博士号取得。2012年より文化庁在外派遣研修員としてドイツに留学、マインツ音楽大学のバロック声楽コースにて研鑽を積んだ。J.S.バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」などのエヴァンゲリストのほか、『ロ短調ミサ』『マニフィカート』『カンタータ』等のソロ、ヘンデル「メサイア」、ハイドゥン「四季」「天地創造」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ベートーヴェン「交響曲第9番」「ミサ・ソレムニス」、メンデルスゾーン「パウロ」「エアリア」「クリストゥス」「交響曲第2番(讃歌)」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」「レクイエム」、オルブ「カルミナ・ブラーナ」等のソリストとして多数出演している。また、バッハ・コレギウム・ジャパンや声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」のメンバーとして国内外におけるコンサートや録音にも出演している。



バリトン

Baritone

加来 徹

福岡県出身。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程独唱科を首席で修了。大学院アカンサス賞受賞、武蔵野奨学金を受ける。二期会オペラ研修所マスタークラスを総代で修了し、最優秀賞および川崎静子賞受賞。NEUE STIMMEN 2013国際コンクール、日本人男声として初のセミファイナル進出。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。日本歌曲賞、日本Rシユトラウス協会賞受賞。2014年シャネル・ピグマリオン・デイズアーティスト。バッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバー。近年では「マタイ受難曲」「メサイア」などの公演でソリストとして出演。オペラでは、日生劇場オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、二期会オペラ公演「ナクソス島のアリアドネ」「ジュリオ・チェーザレ」などに出演。歌曲の演奏には定評があり、世界各国の歌曲に幅広くレパートリーを持つ。CD【Kaku Toru Début】【加来徹×ドイツ歌曲】をリリース。桐朋学園大学嘱託演奏員。二期会会員。



FUKUOKA JO GAKUIN 2018.12.22 (Sat)
Messiah
Georg Friedrich
Händel